

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	信託期間は2004年12月3日から無期限です。	
運用方針	毎決算時の安定した収益分配と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	高金利ソブリンオープン	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	高金利外債マザーファンド	FTSE世界国債インデックス(除く日本)に採用されている国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などを主要投資対象とします。
組入制限	高金利ソブリンオープン	株式への投資は転換社債を転換したものと及び新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。)を行使したものに限り、株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
	高金利外債マザーファンド	株式への投資は転換社債を転換したものと及び新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。)を行使したものに限り、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分配方針	毎月決算を行い、収益分配を目指します。分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。なお、前年から繰り越された分配準備積立金及び収益調整金は、全額分配に使用することがあります。分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

高金利ソブリンオープン

運用報告書(全体版)

第228期 (決算日 2023年12月18日) 第231期 (決算日 2024年3月18日)
第229期 (決算日 2024年1月17日) 第232期 (決算日 2024年4月17日)
第230期 (決算日 2024年2月19日) 第233期 (決算日 2024年5月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、当ファンドはこのたび上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル:0120-668001
(受付時間は営業日の午前9時~午後5時です。)

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			参考指数		債券組入率	債券先物比率	純資産総額
		(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率				
		円	円	%		%	%	%	百万円
第35	第204期(2021年12月17日)	6,386	10	△0.7	515.926	△0.1	97.0	—	10,645
	第205期(2022年1月17日)	6,354	10	△0.3	508.568	△1.4	97.6	—	10,527
	第206期(2022年2月17日)	6,227	10	△1.8	500.652	△1.6	97.1	—	10,248
	第207期(2022年3月17日)	6,304	10	1.4	501.030	0.1	97.7	—	10,321
	第208期(2022年4月18日)	6,546	10	4.0	511.531	2.1	96.6	—	10,631
	第209期(2022年5月17日)	6,326	10	△3.2	509.921	△0.3	97.3	—	10,186
第36	第210期(2022年6月17日)	6,237	10	△1.2	504.372	△1.1	97.1	—	9,959
	第211期(2022年7月19日)	6,514	10	4.6	531.761	5.4	97.0	—	10,343
	第212期(2022年8月17日)	6,520	10	0.2	524.064	△1.4	97.4	—	10,267
	第213期(2022年9月20日)	6,501	10	△0.1	529.190	1.0	97.3	—	10,140
	第214期(2022年10月17日)	6,262	10	△3.5	521.436	△1.5	97.9	—	9,691
	第215期(2022年11月17日)	6,411	10	2.5	519.130	△0.4	97.6	—	9,861
第37	第216期(2022年12月19日)	6,302	10	△1.5	515.903	△0.6	97.1	—	9,643
	第217期(2023年1月17日)	6,006	10	△4.5	491.874	△4.7	96.1	—	9,156
	第218期(2023年2月17日)	6,094	10	1.6	500.835	1.8	97.5	—	9,201
	第219期(2023年3月17日)	6,095	10	0.2	503.330	0.5	97.7	—	9,170
	第220期(2023年4月17日)	6,171	10	1.4	512.246	1.8	96.0	—	9,238
	第221期(2023年5月17日)	6,210	10	0.8	522.215	1.9	96.4	—	9,247
第38	第222期(2023年6月19日)	6,392	10	3.1	538.688	3.2	96.2	—	9,412
	第223期(2023年7月18日)	6,322	10	△0.9	535.340	△0.6	96.7	—	9,225
	第224期(2023年8月17日)	6,352	10	0.6	545.037	1.8	97.0	—	9,218
	第225期(2023年9月19日)	6,388	10	0.7	546.522	0.3	97.5	—	9,198
	第226期(2023年10月17日)	6,334	10	△0.7	544.427	△0.4	97.3	—	8,897
	第227期(2023年11月17日)	6,538	10	3.4	565.529	3.9	98.0	—	9,130
第39	第228期(2023年12月18日)	6,531	10	0.0	555.317	△1.8	97.9	—	9,029
	第229期(2024年1月17日)	6,651	10	2.0	570.466	2.7	97.6	—	9,130
	第230期(2024年2月19日)	6,671	10	0.5	576.721	1.1	97.4	—	9,086
	第231期(2024年3月18日)	6,679	10	0.3	577.152	0.1	97.9	—	9,027
	第232期(2024年4月17日)	6,697	10	0.4	586.035	1.5	97.2	—	8,969
	第233期(2024年5月17日)	6,956	10	4.0	603.247	2.9	95.9	—	9,254

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基準価額		参考指数		債券組入率 比	債券先物率 比
			騰落率		騰落率		
第228期	(期首)2023年11月17日	円	%				
		6,538	—	565.529	%	%	%
第229期	(期末)2023年12月18日	6,541	0.0	555.317	△1.8	98.0	97.9
第229期	(期首)2023年12月18日	6,531	—	555.317	—	97.9	—
	(期末)2024年 1月17日	6,661	2.0	570.466	2.7	97.6	—
第230期	(期首)2024年 1月17日	6,651	—	570.466	—	97.6	—
	(期末)2024年 2月19日	6,681	0.5	576.721	1.1	97.4	—
第231期	(期首)2024年 2月19日	6,671	—	576.721	—	97.4	—
	(期末)2024年 3月18日	6,689	0.3	577.152	0.1	97.9	—
第232期	(期首)2024年 3月18日	6,679	—	577.152	—	97.9	—
	(期末)2024年 4月17日	6,707	0.4	586.035	1.5	97.2	—
第233期	(期首)2024年 4月17日	6,697	—	586.035	—	97.2	—
	(期末)2024年 5月17日	6,966	4.0	603.247	2.9	95.9	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

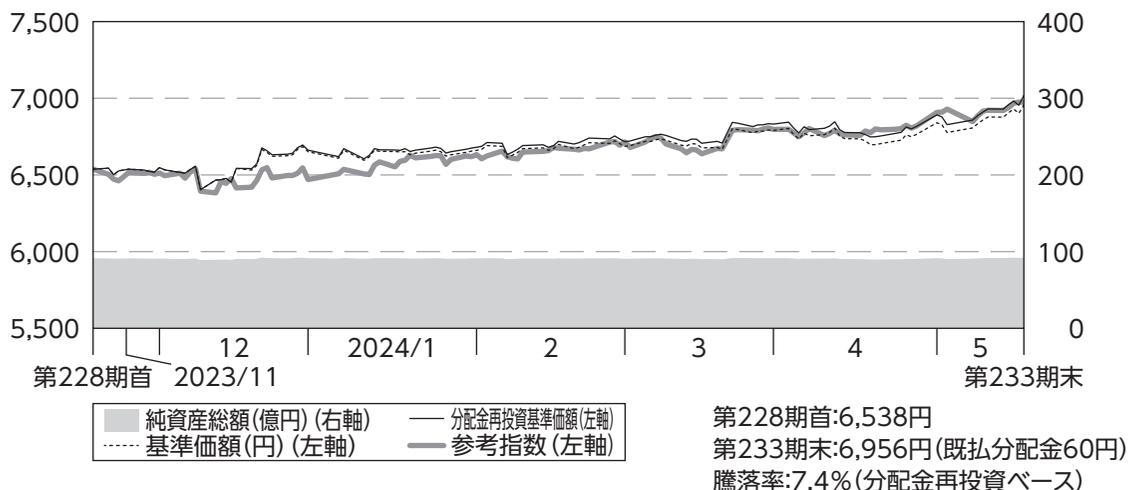
参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）です。

【FTSE世界国債インデックス】は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏又は遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

当作成期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

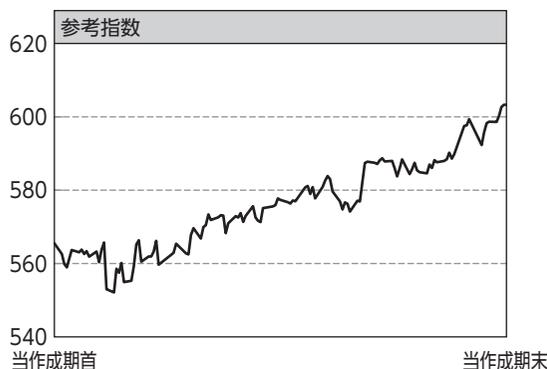
(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額及び参考指数は、2023年11月17日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。当作成期初から12月上旬にかけては世界的にインフレ鈍化が確認され、各国中央銀行による利下げ観測の高まりが相対的な円高要因となり、投資国の通貨は対円で下落したため、基準価額は小幅に下落しました。12月中旬には、FRB(米連邦準備理事会)がインフレ鈍化の進展により先行きの利下げの可能性を示唆したことから、米金利低下(債券価格上昇)に連れて投資国の金利は低下し、基準価額は上昇しました。年初以降は、世界的にインフレの根強さが意識されたことなどから利下げ観測が後退すると、相対的な円安要因となり、投資国通貨は対円で上昇し基準価額は上昇しました。3月になると日銀がマイナス金利を解除し金融緩和政策を修正したものの、追加的な政策金利の引き上げが見送られたことなどから一段と円安が進行し、当作成期末にかけて基準価額は上昇基調で推移しました。

投資環境



為替市場では、投資国の通貨が対円で上昇しました。当作成期初から年末にかけては、世界的にインフレ鈍化が進展し各国中央銀行による利下げ観測が高まったことが相対的な円高要因となったことから、投資国通貨は対円で下落しました。しかし、2024年初以降は、米国を中心にインフレ鈍化の進捗が停滞したことで各国中央銀行による利下げ観測が後退し、相対的な円安要因となったことから、投資国通貨は対円で上昇しました。

債券市場は、投資国の金利は概ね小幅な低下となりました。年末までは世界的にインフレ鈍化が進展し、各国中央銀行による利下げ観測が高まったことから金利が低下しました。しかし、2024年初以降は世界的にインフレの根強さが意識され利下げ観測が後退したことから、投資国の金利低下幅は縮小しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドの運用につきましては、主要投資対象である「高金利外債マザーファンド」をほぼ100%組み入れ、安定的な収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

【「高金利外債マザーファンド」の運用経過】

通貨配分につきましては、期を通じて、米ドルと豪ドルの組入比率を高めに運営したほか、英ポンドやノルウェー・クローネ、カナダ・ドルへの投資を継続しました。

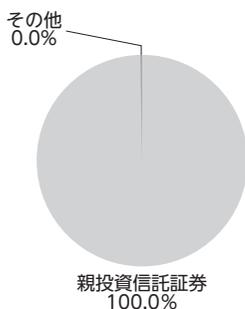
当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

	当作成期末 2024年5月17日
高金利外債マザーファンド	100.0%
その他	0.0%
組入ファンド数	1

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

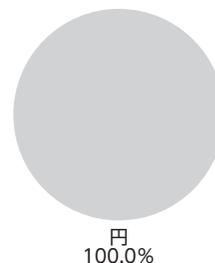
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

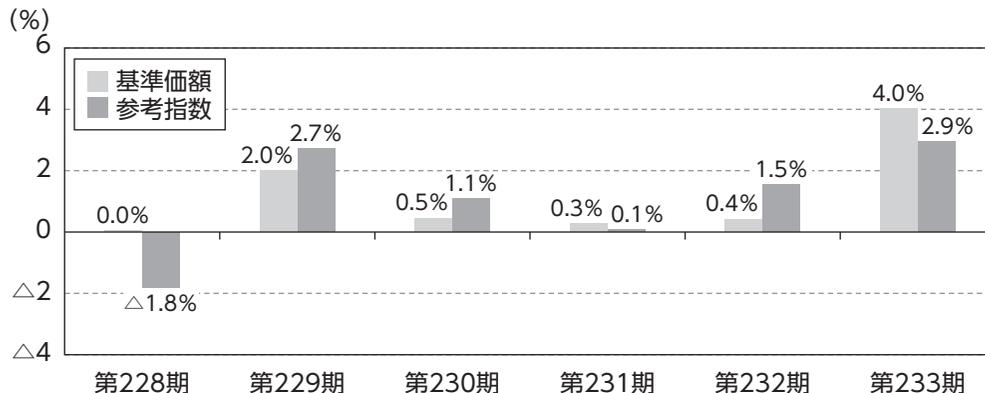


(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額(分配金込み)と参考指数の騰落率の対比です。



分配金

分配金額は、各期ごとの経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
	2023年11月18日～ 2023年12月18日	2023年12月19日～ 2024年1月17日	2024年1月18日～ 2024年2月19日	2024年2月20日～ 2024年3月18日	2024年3月19日～ 2024年4月17日	2024年4月18日～ 2024年5月17日
当期分配金 (円)	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率) (%)	(0.153)	(0.150)	(0.150)	(0.149)	(0.149)	(0.144)
当期の収益 (円)	9	10	10	10	10	10
当期の収益以外 (円)	0	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	200	205	209	211	214	221

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

高金利外債マザーファンド受益証券への投資を通じて、FTSE世界国債インデックス(除く日本)に採用されている国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などのうち、国際的な格付機関である米国S&P社または同Moody's社から、原則としてA格相当以上が付与された債券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を目指します。

1万口当たりの費用明細

項目	当作成期		項目の概要
	(2023年11月18日～2024年5月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	40円	0.602%	(a) 信託報酬 = $\frac{\text{期中の平均基準価額}}{\text{期中の平均基準価額}} \times \text{信託報酬率}$ 期中の平均基準価額は6,695円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(16)	(0.246)	
(販売会社)	(22)	(0.328)	
(受託会社)	(2)	(0.027)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	1	0.012	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(1)	(0.009)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(—)	(—)	
合計	41	0.614	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

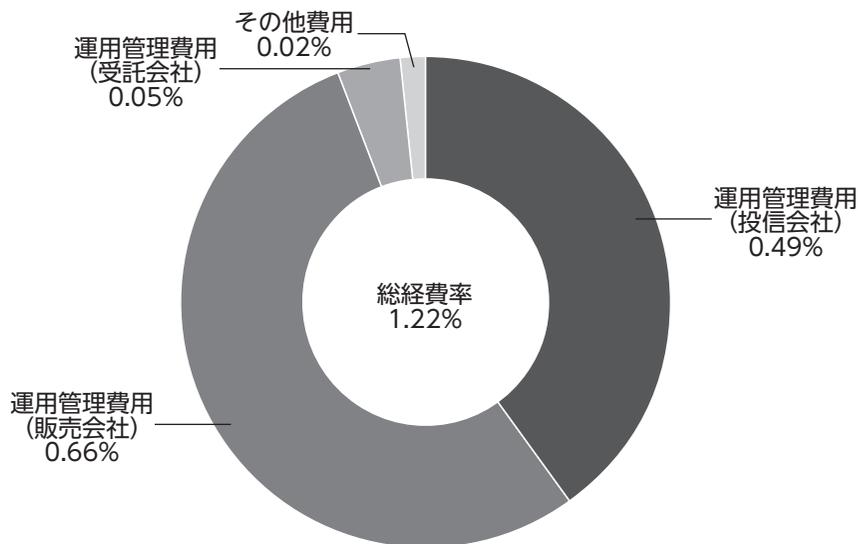
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報>

総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.22%です。



(注1)各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

<親投資信託受益証券の設定、解約状況>

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
高金利外債マザーファンド	千口 2,738	千円 5,757	千口 280,858	千円 585,996

利害関係人※との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当 作 成 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金 銭 信 託	0.045184	0.045184	100.0	0.045184	0.045184	100.0
コール・ローン	1,024	69	6.7	1,024	66	6.4

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

<高金利外債マザーファンド>

区 分	当 作 成 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	2,738	2,738	100.0	3,782	3,782	100.0
金 銭 信 託	1	1	100.0	1	1	100.0
コール・ローン	27,818	2,632	9.5	27,634	2,561	9.3

<平均保有割合 56.0%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

<親投資信託残高>

種 類	前 作 成 期 末		当 作 成 期 末	
	口 数		口 数	
	千口		千口	
高金利外債マザーファンド	4,490,024		4,211,905	
			9,251,449	

(注)親投資信託の当作成期末現在の受益権総口数は、7,563,039千口です。

投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
高金利外債マザーファンド	9,251,449	99.7
コール・ローン等、その他	32,043	0.3
投資信託財産総額	9,283,492	100.0

(注1)高金利外債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(16,328,858千円)の投資信託財産総額(16,645,277千円)に対する比率は98.1%です。

(注2)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=155.58円

1カナダドル=114.22円

1イギリスポンド=197.04円

1ノルウェークローネ=14.52円

1オーストラリアドル=103.85円

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	第 228 期 末 2023年12月18日現在	第 229 期 末 2024年1月17日現在	第 230 期 末 2024年2月19日現在	第 231 期 末 2024年3月18日現在	第 232 期 末 2024年4月17日現在	第 233 期 末 2024年5月17日現在
(A) 資 産	9,063,026,909円	9,156,635,915円	9,120,354,306円	9,051,564,316円	8,996,740,316円	9,283,492,681円
コール・ローン等	12,603,232	13,073,113	13,309,937	11,787,013	12,999,191	13,048,436
高金利外債マザーファンド(評価額)	9,027,072,046	9,129,425,560	9,086,421,772	9,024,392,022	8,970,046,626	9,251,449,657
未 収 入 金	23,351,631	14,137,242	20,622,597	15,385,281	13,694,476	18,994,564
未 収 利 息	—	—	—	—	23	24
(B) 負 債	33,080,833	25,682,276	33,987,079	24,186,293	27,420,632	28,743,971
未 払 収 益 分 配 金	13,825,446	13,729,302	13,619,770	13,515,927	13,393,495	13,304,368
未 払 解 約 金	9,937,471	2,842,224	10,387,076	2,215,157	4,940,706	6,376,543
未 払 信 託 報 酬	9,275,759	9,069,525	9,935,082	8,416,960	9,045,326	9,022,061
未 払 利 息	7	8	2	1	—	—
その他未払費用	42,150	41,217	45,149	38,248	41,105	40,999
(C) 純資産総額(A-B)	9,029,946,076	9,130,953,639	9,086,367,227	9,027,378,023	8,969,319,684	9,254,748,710
元 本	13,825,446,058	13,729,302,197	13,619,770,053	13,515,927,468	13,393,495,266	13,304,368,317
次期繰越損益金	△4,795,499,982	△4,598,348,558	△4,533,402,826	△4,488,549,445	△4,424,175,582	△4,049,619,607
(D) 受益権総口数	13,825,446,058口	13,729,302,197口	13,619,770,053口	13,515,927,468口	13,393,495,266口	13,304,368,317口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,531円	6,651円	6,671円	6,679円	6,697円	6,956円

■損益の状況

項 目	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
	自 2023年11月18日 至 2023年12月18日	自 2023年12月19日 至 2024年 1月17日	自 2024年1月18日 至 2024年2月19日	自 2024年2月20日 至 2024年3月18日	自 2024年3月19日 至 2024年4月17日	自 2024年4月18日 至 2024年5月17日
(A) 配当等収益	△134円	△177円	△53円	△47円	429円	471円
受取利息	3	—	3	—	429	471
支払利息	△137	△177	△56	△47	—	—
(B) 有価証券売買損益	13,451,621	186,593,117	51,741,923	32,119,437	46,114,605	367,423,722
売 買 益	13,956,139	187,498,067	51,981,031	32,574,316	47,061,803	368,270,774
売 買 損	△504,518	△904,950	△239,108	△454,879	△947,198	△847,052
(C) 信託報酬等	△9,317,909	△9,110,742	△9,980,231	△8,455,208	△9,086,431	△9,063,060
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,133,578	177,482,198	41,761,639	23,664,182	37,028,603	358,361,133
(E) 前期繰越損益金	△3,253,896,026	△3,240,127,048	△3,051,072,811	△2,996,964,105	△2,959,069,218	△2,915,229,295
(F) 追加信託差損益金	△1,531,912,088	△1,521,974,406	△1,510,471,884	△1,501,733,595	△1,488,741,472	△1,479,447,077
(配当等相当額)	(206,392,150)	(204,974,369)	(203,356,832)	(201,885,698)	(200,078,302)	(198,766,804)
(売買損益相当額)	(△1,738,304,238)	(△1,726,948,775)	(△1,713,828,716)	(△1,703,619,293)	(△1,688,819,774)	(△1,678,213,881)
(G) 計 (D+E+F)	△4,781,674,536	△4,584,619,256	△4,519,783,056	△4,475,033,518	△4,410,782,087	△4,036,315,239
(H) 収益分配金	△13,825,446	△13,729,302	△13,619,770	△13,515,927	△13,393,495	△13,304,368
次期繰越損益金(G+H)	△4,795,499,982	△4,598,348,558	△4,533,402,826	△4,488,549,445	△4,424,175,582	△4,049,619,607
追加信託差損益金	△1,531,912,088	△1,521,974,406	△1,510,471,884	△1,501,733,595	△1,488,741,472	△1,479,447,077
(配当等相当額)	(206,394,135)	(204,976,108)	(203,358,947)	(201,889,960)	(200,079,944)	(198,768,790)
(売買損益相当額)	(△1,738,306,223)	(△1,726,950,514)	(△1,713,830,831)	(△1,703,623,555)	(△1,688,821,416)	(△1,678,215,867)
分配準備積立金	70,512,213	77,065,694	82,598,570	83,653,572	87,359,166	95,518,056
繰越損益金	△3,334,100,107	△3,153,439,846	△3,105,529,512	△3,070,469,422	△3,022,793,276	△2,665,690,586

(注1) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

※当ファンドの第228期首元本額は13,964,773,704円、第228～233期中追加設定元本額は27,349,860円、第228～233期中一部解約元本額は687,755,247円です。

※分配金の計算過程

項 目	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	13,056,992円	20,742,494円	19,665,267円	15,186,284円	17,796,382円	22,006,234円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	—円	—円	—円	—円	—円	—円
(C) 収益調整金額	206,394,135円	204,976,108円	203,358,947円	201,889,960円	200,079,944円	198,768,790円
(D) 分配準備積立金額	71,280,667円	70,052,502円	76,553,073円	81,983,215円	82,956,279円	86,816,190円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	290,731,794円	295,771,104円	299,577,287円	299,059,459円	300,832,605円	307,591,214円
(F) 期末残存口数	13,825,446,058口	13,729,302,197口	13,619,770,053口	13,515,927,468口	13,393,495,266口	13,304,368,317口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり) (E/F×10,000)	210円	215円	219円	221円	224円	231円
(H) 分配金額(1万口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円
(I) 収益分配金金額(F×H/10,000)	13,825,446円	13,729,302円	13,619,770円	13,515,927円	13,393,495円	13,304,368円

分配金のお知らせ

	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
1万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

(注)分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

【分配金の課税上の取扱いについて】

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。

受益者が収益分配金を受け取る際、

- A. 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合又は当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、
- B. 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

- ・課税上の詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めいたします。
- ・税法が改正された場合などは、上記の内容が変更になる場合があります。

お知らせ

該当事項はありません。

高金利外債マザーファンド

運用報告書

第19期（決算日 2023年11月17日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2004年12月3日から無期限です。
運用方針	中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	FTSE世界国債インデックス(除く日本)に採用されている国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などを主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は転換社債を転換したものおよび新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限りません。)を行使したものに限ることとし、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資には、制限を設けません。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	円	騰落率	円	騰落率			
第15期(2019年11月18日)	16,857	2.0	466.778	4.3	97.6	—	百万円 21,231
第16期(2020年11月17日)	17,623	4.5	491.244	5.2	96.4	—	19,293
第17期(2021年11月17日)	18,825	6.8	516.294	5.1	96.8	—	18,433
第18期(2022年11月17日)	19,327	2.7	519.130	0.5	97.7	—	16,956
第19期(2023年11月17日)	20,338	5.2	565.529	8.9	98.0	—	16,232

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券組入率 比	債券先物率 比
	円	騰落率	円	騰落率		
(当期首) 2022年11月17日	19,327	—	519.130	—	97.7	—
11月末	19,152	△0.9	516.243	△0.6	97.7	—
12月末	18,195	△5.9	494.385	△4.8	97.3	—
2023年 1月末	18,574	△3.9	498.367	△4.0	96.4	—
2月末	18,553	△4.0	503.372	△3.0	97.4	—
3月末	18,796	△2.7	507.635	△2.2	97.9	—
4月末	18,720	△3.1	513.970	△1.0	96.1	—
5月末	18,908	△2.2	527.860	1.7	96.8	—
6月末	19,787	2.4	548.017	5.6	96.5	—
7月末	19,545	1.1	534.743	3.0	96.9	—
8月末	19,865	2.8	550.428	6.0	97.3	—
9月末	19,697	1.9	542.874	4.6	96.8	—
10月末	19,370	0.2	541.404	4.3	97.4	—
(当期末) 2023年11月17日	20,338	5.2	565.529	8.9	98.0	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

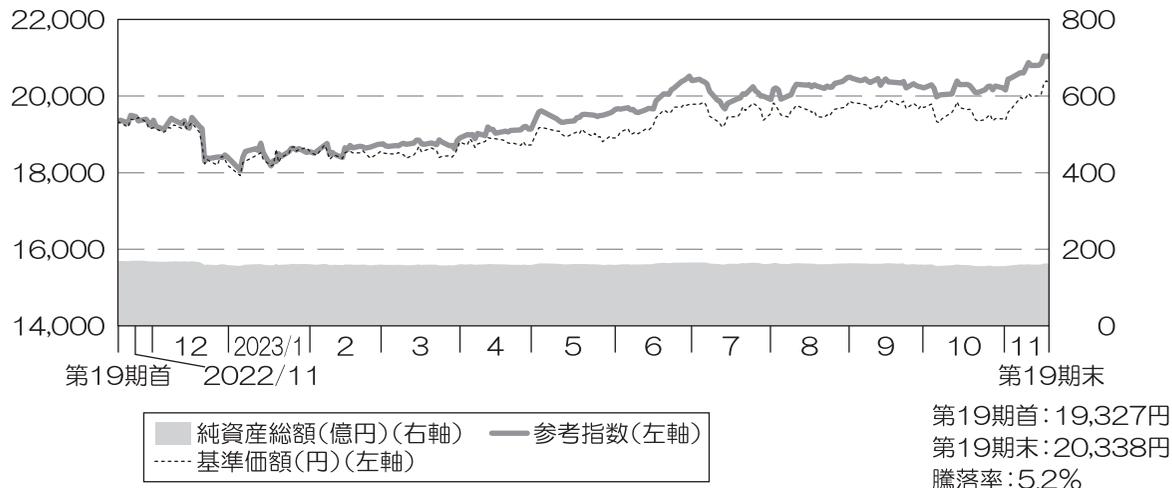
参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）です。

【FTSE世界国債インデックス】は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏又は遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移

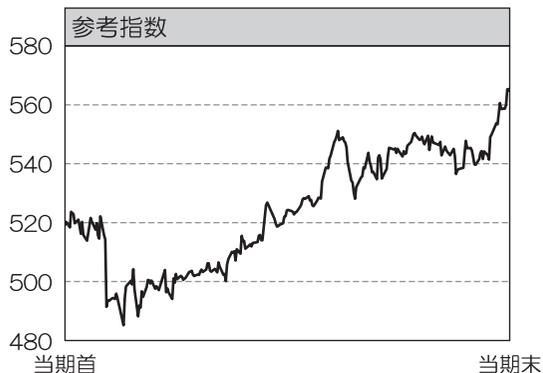


(注)参考指数は、2022年11月17日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。期初から2022年12月にかけては、日銀が金融緩和政策の修正に踏み切ったことが円高要因となり、投資国通貨が対円で下落したことから、基準価額は下落しました。その後は7月中旬にかけて、各国中央銀行による累積的な利上げ効果が景気減速を招くと懸念され、投資国の金利が低下(債券価格は上昇)したことから、基準価額は上昇しました。10月末にかけては、日銀が金融緩和政策の修正を急がない姿勢を示したことなどが円安要因となり、投資国通貨は対円で上昇した一方で、底堅い経済指標を背景に各国で再度利上げ観測が高まり金利は上昇したことから、基準価額は横ばいで推移しました。その後期末にかけてはインフレ鈍化により利上げ観測が後退したことから、投資国の金利は低下し基準価額は上昇しました。

投資環境



為替市場では、期初から2022年12月にかけては、日銀が金融緩和政策の修正に踏み切ったことが円高要因となったことから、投資国通貨は対円で下落しました。2023年2月にかけては、日銀が金融緩和政策の修正を急がない姿勢を示したことなどが円安要因となり、投資国通貨は対円で上昇しました。その後、日銀による政策修正期待が高まる場面があったものの、当面は緩和的な金融政策が続くとの見方が円安圧力となり、投資国通貨は対円で上昇しました。

債券市場では、期初から2023年5月中旬にかけて、各国にて累積的な利上げによる景気減速懸念から、投資国の金利は低下しました。5月中旬以降は、米国をはじめ底堅い経済指標から再度利上げ観測が高まり、投資国の金利は上昇しました。期末にかけてはインフレ率の鈍化などから利上げ観測が後退し、投資国の金利は上昇幅を縮小しました。

当ファンドのポートフォリオ

通貨配分につきましては、上期は、豪ドルと米ドルの組入比率を高め運用し、下期は、豪ドルや英ポンドの組入比率を高め運用しました。また、カナダ・ドルやノルウェー・クローネへの投資を継続しました。

当ファンドの組入資産の内容

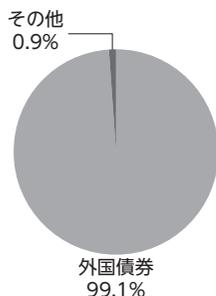
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	BRCOL 2.25% 06/02/26	カナダ	15.4%
2	ACGB 1% 12/21/30	オーストラリア	11.0%
3	UKT 4.25% 06/07/32	イギリス	9.8%
4	BRCOL 5.7% 06/18/29	カナダ	7.9%
5	EIB 1.5% 01/26/24	国際機関	7.7%
6	UKT 1.25% 07/31/51	イギリス	6.2%

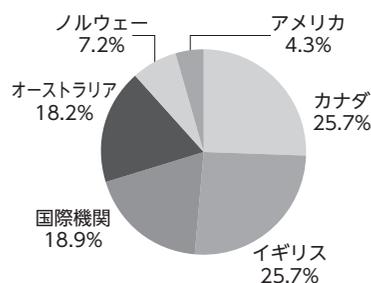
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	NGB 2.125% 05/18/32	ノルウェー	5.6%
8	EIB 4.5% 06/07/29	国際機関	4.7%
9	EIB 3.1% 08/17/26	国際機関	4.7%
10	UKT 1.25% 07/22/27	イギリス	4.6%
組入銘柄数			28

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

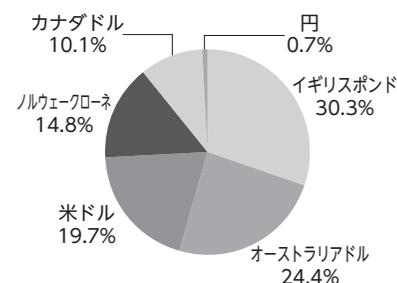
○資産別配分



○国別配分



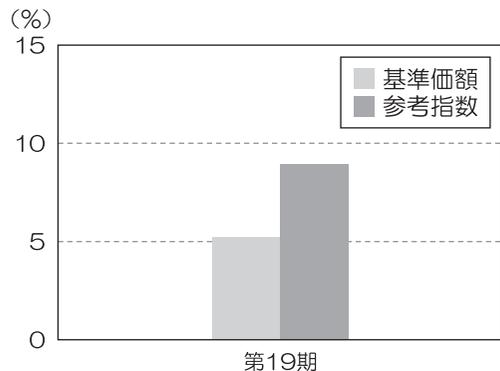
○通貨別配分



(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



今後の運用方針

FTSE世界国債インデックス(除く日本)に採用されている国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などのうち、国際的な格付機関である米国S&P社または同Moody's社から、原則としてA格相当以上が付与された債券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を目指します。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2022年11月18日～2023年11月17日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	－円	－%	(a) 売買委託手数料 = $\frac{[\text{期中の売買委託手数料}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(－)	(－)	
(新株予約権証券)	(－)	(－)	
(オプション証券等)	(－)	(－)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(商品)	(－)	(－)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(b) 有価証券取引税	－	－	(b) 有価証券取引税 = $\frac{[\text{期中の有価証券取引税}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(－)	(－)	
(新株予約権証券)	(－)	(－)	
(オプション証券等)	(－)	(－)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(－)	(－)	
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) その他費用	3	0.017	(c) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(3)	(0.017)	
(監査費用)	(－)	(－)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	3	0.017	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(19,096円)で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

〈公社債〉

			当 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	国債証券	千米ドル 23,159	千米ドル 20,395
		地方債証券	—	3,265
	カ ナ ダ	国債証券	千カナダドル —	千カナダドル 208
		地方債証券	—	8,448
	イ ギ リ ス	国債証券	千イギリスポンド 18,065	千イギリスポンド 1,561
	ノ ル ウ ェ ー	国債証券	千ノルウェークローネ —	千ノルウェークローネ 111,895
		特殊債証券	—	9,798
	オ ー ス ト ラ リ ア	国債証券	千オーストラリアドル 8,920	千オーストラリアドル 21,582

(注)金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

利害関係人*との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 5,788	百万円 2,429	% 42.0	百万円 7,364	百万円 3,750	% 50.9
金 銭 信 託	3	3	100.0	3	3	100.0
コール・ローン	58,777	6,528	11.1	58,722	6,528	11.1

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

* 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

<外国(外貨建)公社債>

(A) 債券種類別開示

区 分	額 面 金 額	当 期 末				残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
ア メ リ カ	千米ドル 22,800	千米ドル 20,941	千円 3,157,206	% 19.5	% —	% 4.2	% 15.2	% —
カ ナ ダ	千カナダドル 13,700	千カナダドル 14,607	1,601,412	9.9	—	9.9	—	—
イ ギ リ ス	千イギリスポンド 32,200	千イギリスポンド 25,892	4,846,214	29.9	—	25.3	4.6	—
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークロネ 184,000	千ノルウェークロネ 172,469	2,376,629	14.6	—	7.0	—	7.6
オーストラリア	千オーストラリアドル 47,600	千オーストラリアドル 40,238	3,923,240	24.2	—	18.4	5.8	—
合 計	—	—	15,904,702	98.0	—	64.8	25.6	7.6

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

銘 柄	利 率	当 期 末				償 還 年 月 日	銘 柄	利 率	当 期 末				償 還 年 月 日
		額面金額	評 価 額		額面金額				額面金額	評 価 額		額面金額	
			外貨建金額	邦貨換算金額						外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ) 国債証券	%	千米ドル	千米ドル	千円			%	千ノルウェークロネ	千ノルウェークロネ	千円			
T 2.875% 05/15/52	2.875	800	575	86,696	2052/5/15	NGB 1.75% 09/06/29	1.75	2,000	1,801	24,827	2029/9/6		
T 3% 08/15/52	3.0	1,000	738	111,350	2052/8/15	NGB 2.125% 05/18/32	2.125	74,000	65,654	904,715	2032/5/18		
T 4% 11/15/52	4.0	2,500	2,241	337,951	2052/11/15	特殊債券(除く金融債)							
T 4.125% 11/15/32	4.125	1,000	973	146,790	2032/11/15	EIB 1.5% 01/26/24	1.5	90,000	89,449	1,232,610	2024/1/26		
地方債証券						小 計				2,376,629			
BRCOL 2.25% 06/02/26	2.25	17,500	16,412	2,474,417	2026/6/2	(オーストラリア) 国債証券		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル				
小 計				3,157,206		ACGB 1% 12/21/30	1.0	22,900	18,195	1,774,071	2030/12/21		
(カナダ) 地方債証券		千カナダドル	千カナダドル			ACGB 1.75% 06/21/51	1.75	1,500	790	77,093	2051/6/21		
BRCOL 4.95% 06/18/40	4.95	3,000	3,116	341,657	2040/6/18	ACGB 1.75% 11/21/32	1.75	300	238	23,286	2032/11/21		
BRCOL 5.7% 06/18/29	5.7	10,700	11,490	1,259,754	2029/6/18	ACGB 3.75% 04/21/37	3.75	900	817	79,661	2037/4/21		
小 計				1,601,412		地方債証券							
(イギリス) 国債証券		千イギリスポンド	千イギリスポンド			NSWTC 2% 03/20/31	2.0	2,000	1,646	160,582	2031/3/20		
UKT 1.25% 07/22/27	1.25	4,400	3,985	746,034	2027/7/22	TCV 2.25% 11/20/34	2.25	2,000	1,484	144,750	2034/11/20		
UKT 1.25% 07/31/51	1.25	11,000	5,359	1,003,211	2051/7/31	TCV 3% 10/20/28	3.0	1,000	929	90,641	2028/10/20		
UKT 3.25% 01/31/33	3.25	2,600	2,429	454,653	2033/1/31	TCV 4.25% 12/20/32	4.25	5,000	4,685	456,872	2032/12/20		
UKT 3.75% 10/22/53	3.75	2,000	1,740	325,820	2053/10/22	TCV 5.5% 11/17/26	5.5	1,000	1,028	100,295	2026/11/17		
UKT 4.25% 06/07/32	4.25	8,200	8,337	1,560,593	2032/6/7	特殊債券(除く金融債)							
EIB 4.5% 06/07/29	4.5	4,000	4,038	755,901	2029/6/7	EIB 3.1% 08/17/26	3.1	8,000	7,683	749,114	2026/8/17		
小 計				4,846,214		IFC 3.15% 06/26/29	3.15	3,000	2,737	266,870	2029/6/26		
(ノルウェー) 国債証券		千ノルウェークロネ	千ノルウェークロネ			小 計				3,923,240			
NGB 1.375% 08/19/30	1.375	18,000	15,564	214,475	2030/8/19	合 計				15,904,702			

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 15,904,702	% 97.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	347,441	2.1
投 資 信 託 財 産 総 額	16,252,143	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(16,118,804千円)の投資信託財産総額(16,252,143千円)に対する比率は99.2%です。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=150.76円

1カナダドル=109.63円

1イギリスポンド=187.17円

1ノルウェークローネ=13.78円

1オーストラリアドル=97.50円

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2023年11月17日現在
(A) 資 産	16,252,143,115円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	161,856,266
公 社 債(評価額)	15,904,702,409
未 収 利 息	184,329,615
前 払 費 用	1,254,825
(B) 負 債	20,052,472
未 払 解 約 金	20,052,341
未 払 利 息	131
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	16,232,090,643
元 本	7,981,240,168
次 期 繰 越 損 益 金	8,250,850,475
(D) 受 益 権 総 口 数	7,981,240,168口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,338円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2022年11月18日 至 2023年11月17日
(A) 配 当 等 収 益	492,654,931円
受 取 利 息	492,793,119
支 払 利 息	△138,188
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	307,760,953
売 買 益	1,081,727,367
売 買 損	△773,966,414
(C) そ の 他 費 用	△2,815,419
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	797,600,465
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	8,183,367,991
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,469,270
(G) 解 約 差 損 益 金	△732,587,251
(H) 計 (D+E+F+G)	8,250,850,475
次 期 繰 越 損 益 金(H)	8,250,850,475

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は8,773,416,255円、期中追加設定元本額は2,743,448円、期中一部解約元本額は794,919,535円です。

※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

高金利ソブリンオープン	4,490,024,841円
3資産バランスオープン	2,617,881,737円
高金利海外債券ファンド(適格機関投資家専用)	507,625,048円
3資産バランスオープンアルファ	365,708,542円

お知らせ

該当事項はありません。